



2017年3月期 第2四半期決算説明会

2016年11月17日

いろいろな笑顔を結びたい
京成電鉄
東証第一部 コード9009

- 1. 経営概況**
2. E3プラン進捗状況
3. 2017年3月期 第2四半期連結決算
4. 2017年3月期 連結業績予想
5. 連結業績の推移
6. 参考資料

業績予想概要

営業収益 2,464億円 運輸業で増収となった一方、流通業の店舗閉鎖等により、6億円の**減収**
 営業利益 282億円 運輸業で増収のほか、電力料・燃料費等の減少もあり、12億円の増益

	2017/3 今回予想	2017/3 当初予想	増減	率	E3プラン 数値目標
営業収益	2,464億円	2,470億円	△6億円	△0.2%	-
営業利益 (営業利益率)	282億円 (11.4%)	270億円 (10.9%)	+12億円	+4.6%	280億円以上 (11%以上)
経常利益	438億円	426億円	+12億円	+2.8%	440億円以上
親会社株主に帰属 する当期純利益	327億円	318億円	+9億円	+2.9%	-
有利子負債残高 (EBITDA倍率)	3,178億円 (6.1倍)	3,221億円 (6.4倍)	△43億円	-	上限3,250億円 (上限6.1倍)

※有利子負債残高にはリース債務を含む

※EBITDA倍率 = 有利子負債残高 ÷ (営業利益 + 減価償却費)

■ 鉄道輸送人員（第2四半期実績）

単位：千人	2016/9 実績		2015/9 実績		2016/9 当初予想		
			増減	率		増減	率
定期	83,896	82,224	1,672	2.0%	82,898	998	1.2%
定期外	57,638	56,785	853	1.5%	57,095	543	1.0%
輸送人員合計	141,534	139,009	2,525	1.8%	139,993	1,541	1.1%

■ 旅客運輸収入（第2四半期実績）

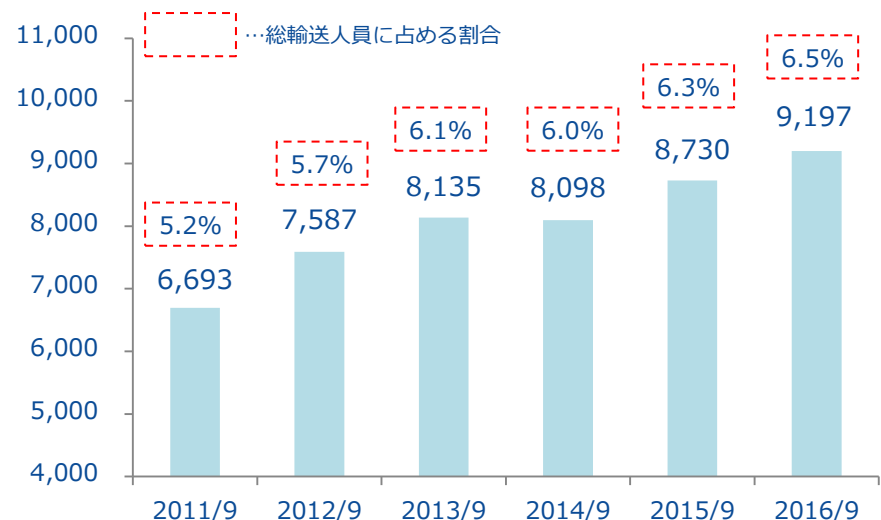
単位：百万円	2016/9 実績		2015/9 実績		2016/9 当初予想		
			増減	率		増減	率
定期	10,420	10,229	190	1.9%	10,323	97	0.9%
定期外	19,790	19,175	614	3.2%	19,303	487	2.5%
運輸収入合計	30,211	29,405	805	2.7%	29,626	585	2.0%

■ 空港発着鉄道輸送人員（第2四半期実績）

単位：千人	2016/9 実績	2015/9 実績	増減	率	2016/9 当初予想	増減	率
空港発着 輸送人員	9,197	8,730	467	5.3%	8,835	362	4.1%
内スカイライナー 利用人員	2,018	1,883	135	7.2%	1,897	121	6.4%

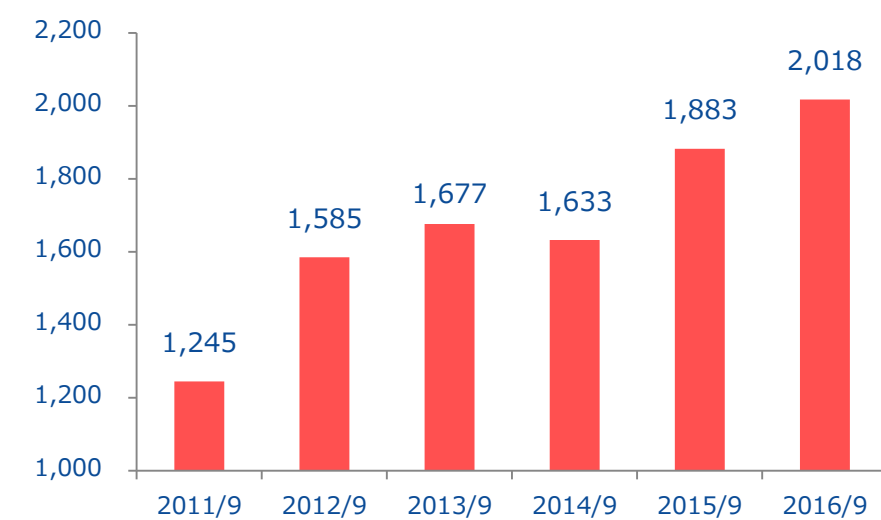
■ 空港発着輸送人員（上期）

（単位：千人）



■ スカイライナー利用人員（上期）

（単位：千人）

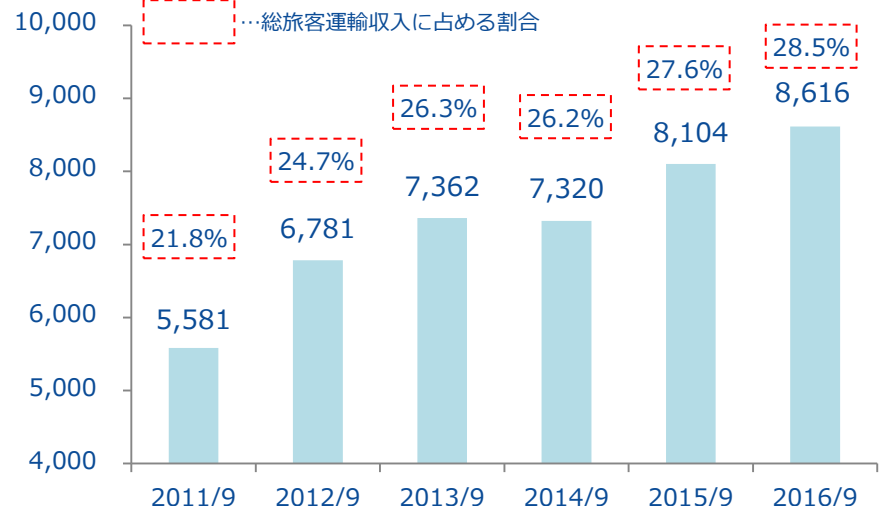


■ 空港発着旅客運輸収入（第2四半期実績）

単位：百万円	2016/9 実績	2015/9 実績	増減	率	2016/9 当初予想	増減	率
空港発着 旅客運輸収入	8,616	8,104	512	6.3%	8,185	431	5.3%
内スカイライナー 料金収入	2,170	2,052	117	5.7%	2,067	102	5.0%

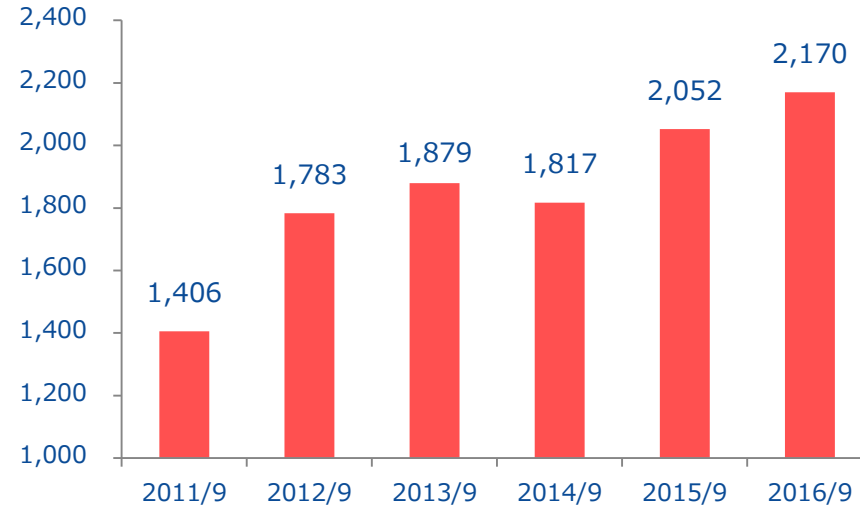
■ 空港発着旅客運輸収入（上期）

（単位：百万円）



■ スカイライナー料金収入（上期）

（単位：百万円）



■ 鉄道輸送人員 (通期予想)

単位：千人	2017/3 今回予想	2016/3 実績			2017/3 当初予想		
			増減	率		増減	率
定期	164,036	160,667	3,369	2.1%	164,479	△443	△0.3%
定期外	115,369	113,902	1,467	1.3%	114,971	398	0.3%
輸送人員合計	279,405	274,569	4,836	1.8%	279,450	△45	△0.0%

■ 旅客運輸収入 (通期予想)

単位：百万円	2017/3 今回予想	2016/3 実績			2017/3 当初予想		
			増減	率		増減	率
定期	20,547	20,152	394	2.0%	20,601	△54	△0.3%
定期外	39,580	38,503	1,077	2.8%	38,818	762	2.0%
運輸収入合計	60,127	58,655	1,471	2.5%	59,419	708	1.2%

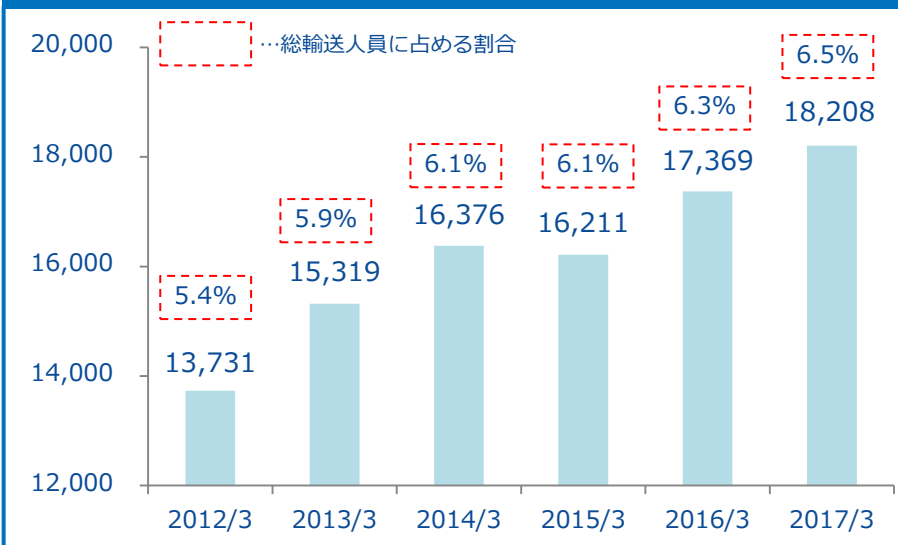
Intentionally Blank

■ 空港発着鉄道輸送人員（通期予想）

単位：千人	2017/3 今回予想	2016/3 実績	増減	率	2017/3 当初予想	増減	率
	空港発着 輸送人員	18,208	17,369	839	4.8%	17,718	490
内スカイライナー 利用人員	3,989	3,775	214	5.7%	3,782	207	5.5%

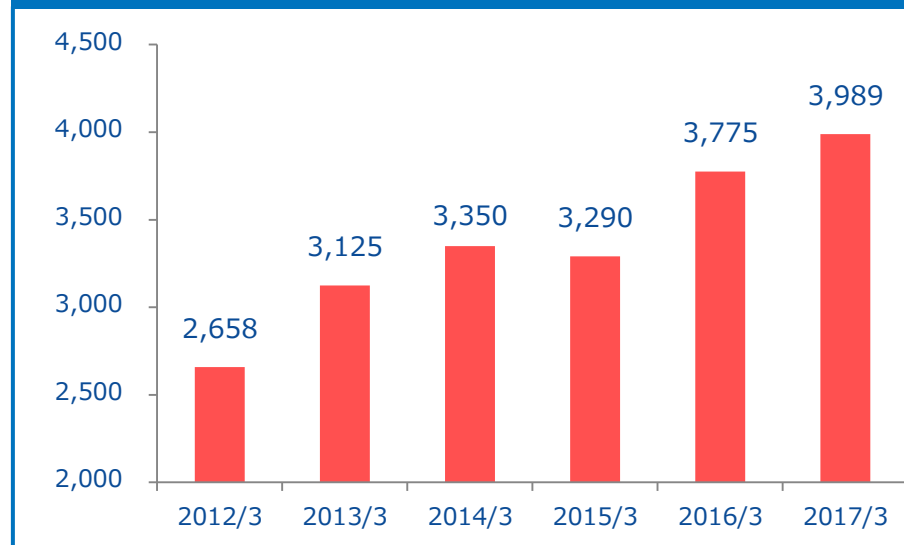
■ 空港発着輸送人員

(単位：千人)



■ スカイライナー利用人員

(単位：千人)

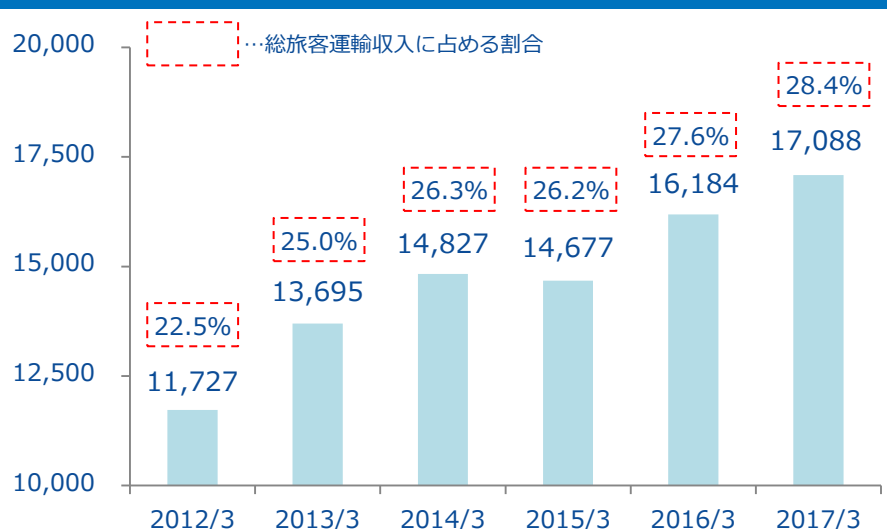


■ 空港発着旅客運輸収入（通期予想）

単位：百万円	2017/3 今回予想	2016/3 実績	増減	率	2017/3 当初予想	増減	率
空港発着 旅客運輸収入	17,088	16,184	902	5.6%	16,374	713	4.4%
内スカイライナー 料金収入	4,288	4,105	182	4.5%	4,118	171	4.1%

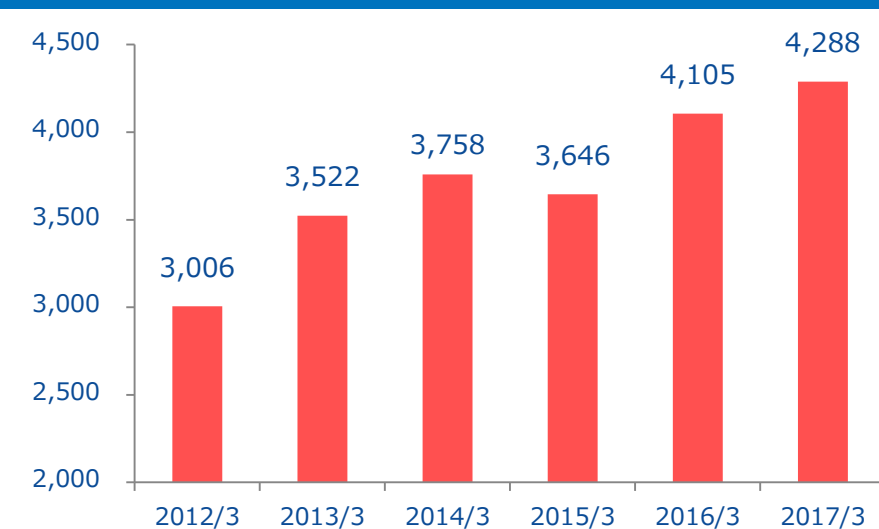
■ 空港発着旅客運輸収入

(単位：百万円)



■ スカイライナー料金収入

(単位：百万円)



1. 経営概況
- 2. E3プラン進捗状況**
3. 2017年3月期 第2四半期連結決算
4. 2017年3月期 連結業績予想
5. 連結業績の推移
6. 参考資料

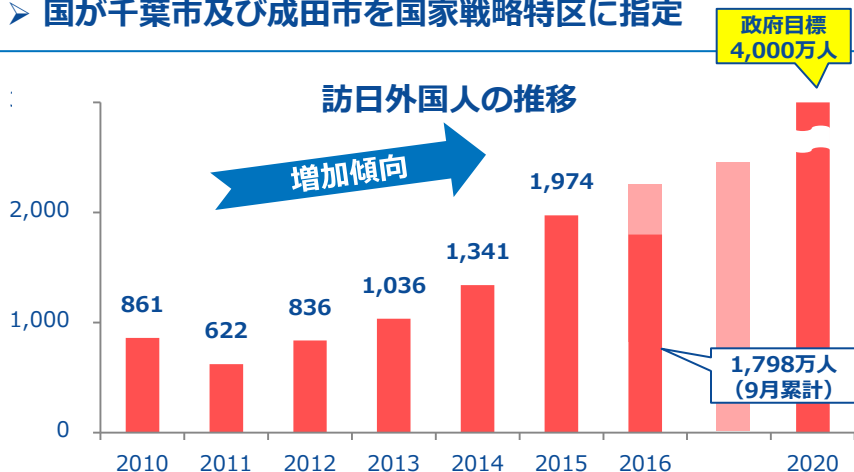
E1・E2プラン（2010～2015年度）

E3プラン（2016～2018年度）

E4プラン（2019～2021年度）

■当社グループの事業環境・インパクト事項

- 訪日外国人増、成田空港LCC国内線利用者増
- 2020年東京オリンピック・パラリンピック
- 国が千葉市及び成田市を国家戦略特区に指定



■E3プラン基本戦略

1. インバウンド市場の深耕
2. 事業機会を活かした収益拡大
3. 沿線エリアの魅力向上
4. 安全・安心の確保並びにサービス品質の向上
5. 財務健全性の向上並びにグループ経営体制の充実

■数値目標

営業利益 280億円以上	営業利益率 11%以上	経常利益 440億円以上
有利子負債残高 上限3,250億円 (EBITDA倍率 上限6.1倍)		

■基本方針

- 持続的な成長に向けた収益拡大への挑戦
- 安全かつ安心なサービスの提供
- 経営基盤の一層の強化

成長の実現

収益規模の拡大

成長への収益基盤確立

将来への投資

(戦略投資枠**400億円**の設定)

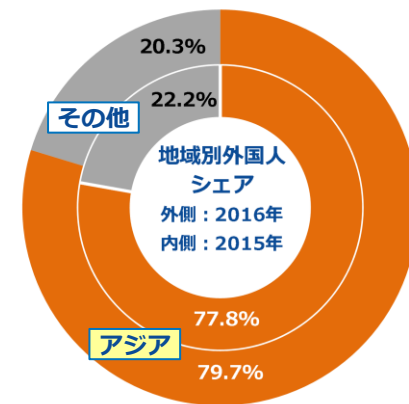
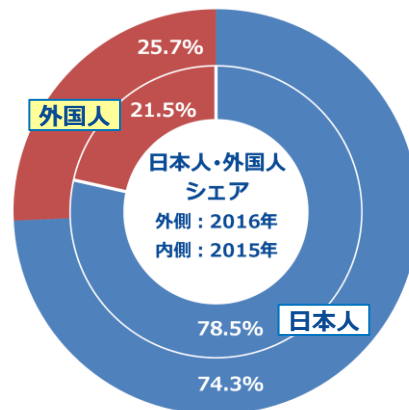
成長への基盤整備

財務健全性の向上

■ 訪日外国人向け商品の販売促進

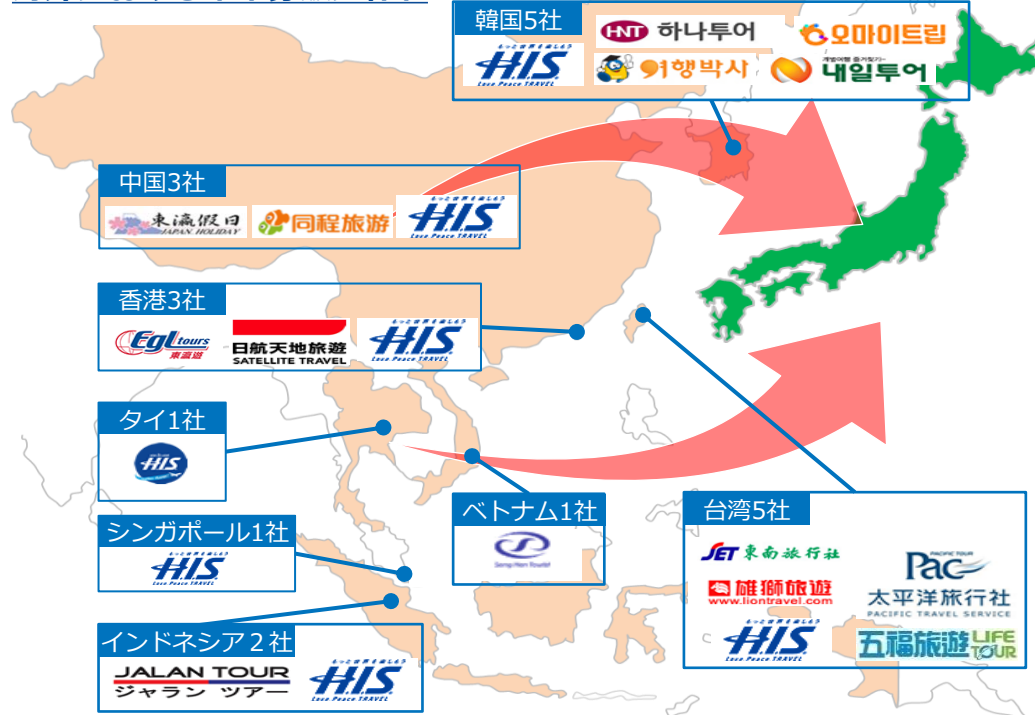
- 現地取扱い旅行会社・商品の拡充
 - Keisei Skyliner & Tokyo Subway Ticket
 - ・インドネシア、香港、シンガポール
 - スカイライナークーポン
 - ・シンガポール、台湾

当社空港線利用者内訳

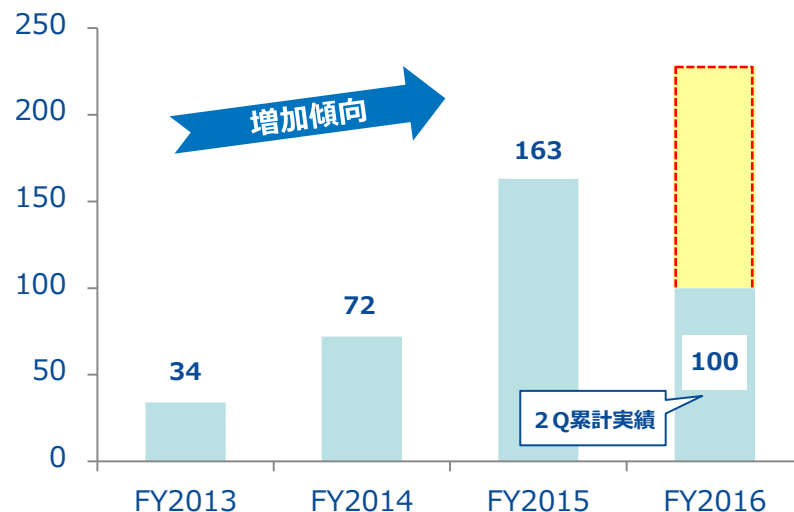


出典：訪日外国人カウント調査（当社実施）

海外における乗車券販売体制



Keisei Skyliner & Tokyo Subway Ticket 販売実績 (単位:千枚)



■ 訪日外国人受入体制の強化

- ▶ 外国人向けインフォメーションセンター設置
－成田空港駅（2016年12月予定）



訪日外国人のお客様向け乗車券発売・案内カウンター「SKYLINER & KEISEI INFORMATION CENTER」

- ▶ 鉄道諸設備における多言語対応
 - －自動券売機が多言語対応（英語、韓国語、中国語（簡体字））
 - －駅自動放送・行先表示器が多言語化
- ▶ 路線バスにおける多言語対応
 - －停留所名表示モニター導入
 - －車内放送の多言語化
- ▶ 駅コンシェルジュの配置
 - －押上駅（5駅目）



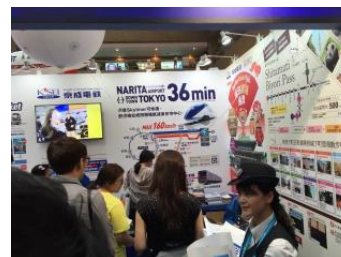
■ 訪日外国人向け商品の造成

- ▶ 企画乗車券「KEISEI SKYLINER & TEITO TAXI」の発売（2016年7月）

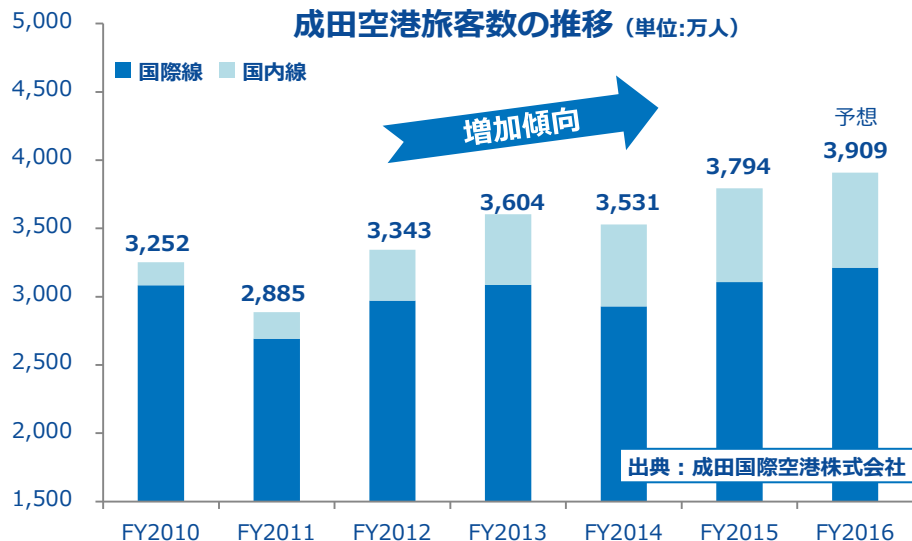


■ 海外プロモーションの強化

- ▶ 海外旅行博への出展など
 - －香港（2016年6月）、タイ（2016年7月）、台湾（2016年11月）
- ▶ 海外向け広告宣伝の強化
- ▶ 招聘ツアーの実施（旅行会社・ブLOGGER）



国際旅行博への出展



■ 成田スカイアクセスの利便性向上

- ▶ ダイヤ改正 (2016年11月予定)
 - スカイライナー・アクセス特急の増発
 - アクセス特急の始発時刻を繰り上げ

■ タクシー事業の拡大

- ▶ 帝都葛飾交通の事業開始 (2016年8月)
 - 保有車両数 110両

■ 成田スカイアクセスの認知度向上

- ▶ LCC国内線各社との共同プロモーション展開
- ▶ 韓国LCC各社との共同キャンペーンの実施
- ▶ エア・プサンとの共同キャンペーンの実施
- ▶ スカイライナーご利用2,000万人達成記念式典 (2016年9月)



国内旅行も成田から!
～スカイライナー&LCCで気軽にお得な空の旅～



成田⇄韓国! LCC増便中!

国内旅行も成田から! ~スカイライナー&LCCで気軽にお得な空の旅~

帝都葛飾交通株式会社

■ 空港アクセスバスの強化

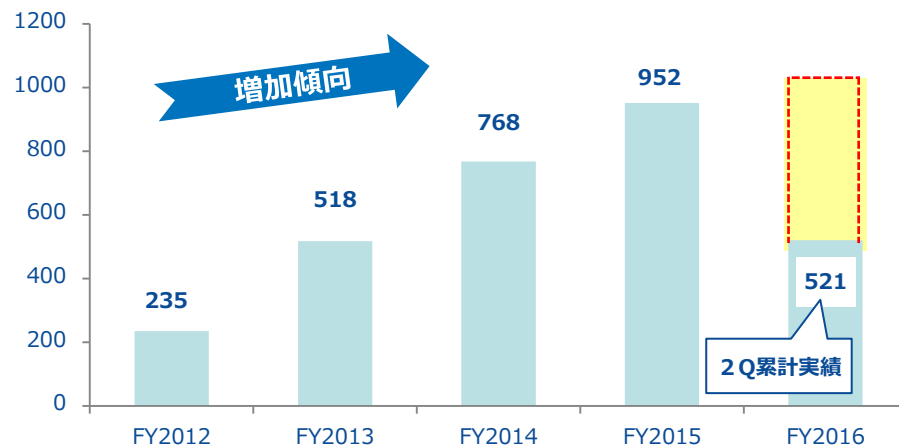
- 成田シャトルの運行開始（2016年10月）
 - 京成バス・千葉交通・WILLER EXPRESS北信越の共同運行
 - 大崎バスターミナル～成田空港～芝山町間
 - 1日43便（上り・下り合計便数）、最短30分間隔
 - 普通運賃 1,200円 WEB割 1,000円
- 富士山・河口湖～成田空港線の新設（2016年7月）

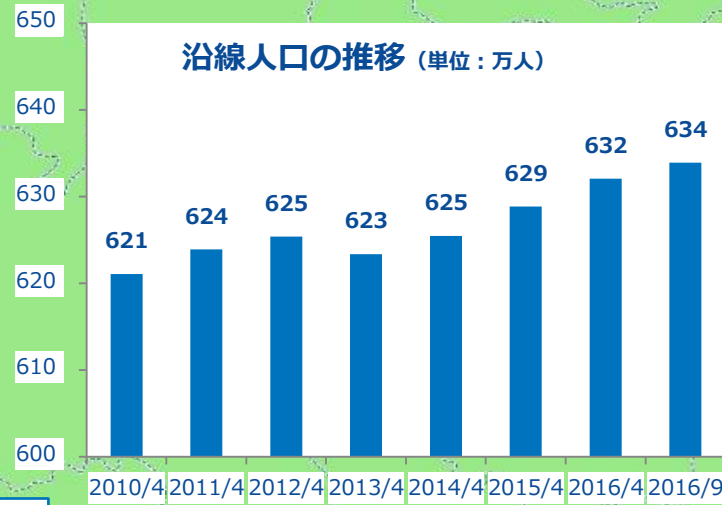
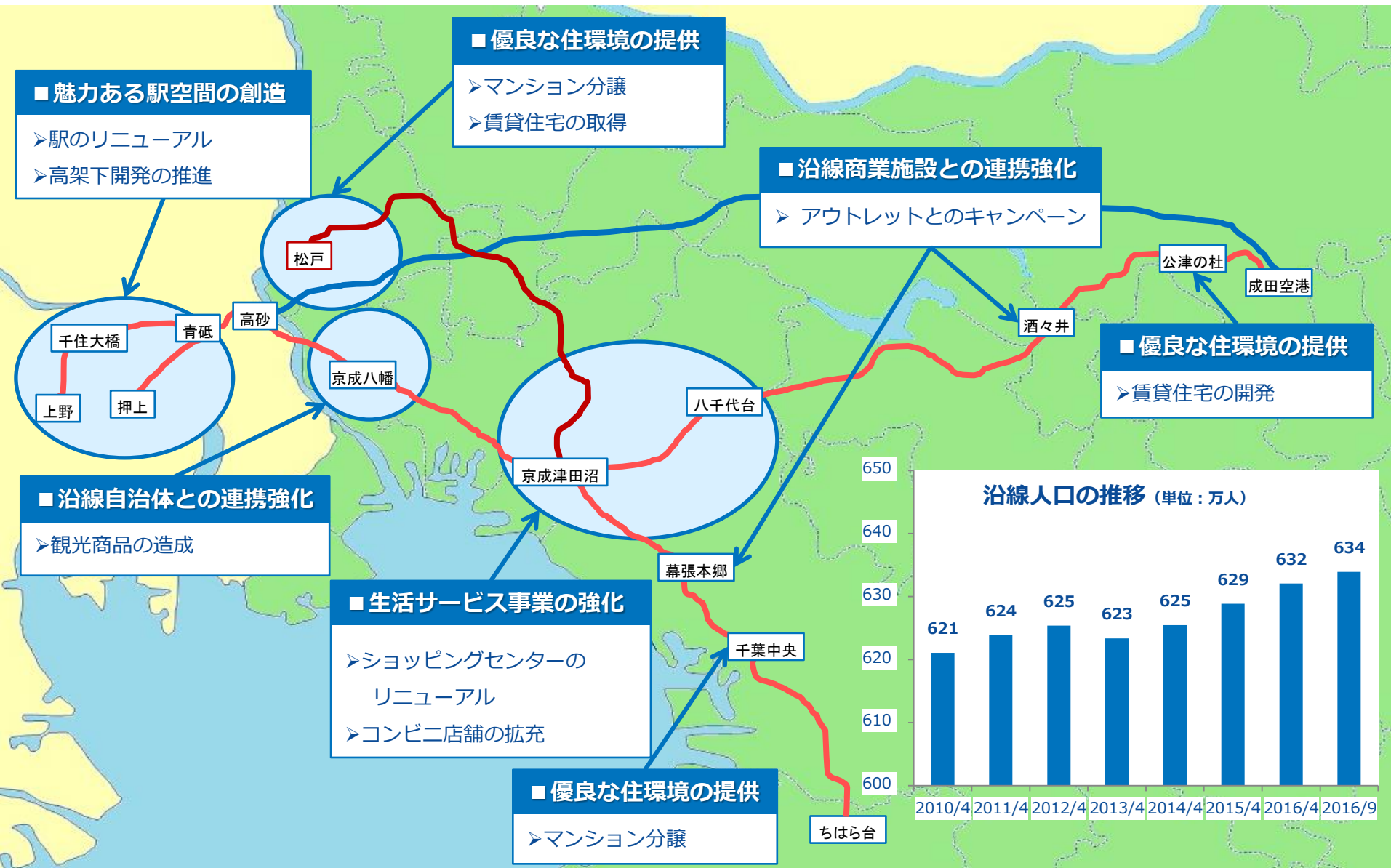


■ 東京シャトルの利便性・認知度向上

- 東京シャトルのリニューアル（2016年7月）
 - 大江戸温泉物語発着便の増便
 - 成田空港発の往復券を発売開始
 - IC割引キャンペーンの延長

東京シャトル運送収入 (単位:百万円)





■ 駅のリニューアル

- 上野駅（2019年3月予定）
 - －リニューアル工事の設計に着手
 - ・京成ブランド・上野エリアの魅力向上
 - ・訪日外国人受入体制の強化
- 千住大橋駅（2017年3月予定）
 - －駅構内への店舗新設を含めた大幅なリニューアル工事を実施



■ コンビニ店舗の拡充

- 駅構内売店のコンビニエンスストア化
 - －京成津田沼駅構内店オープン（20店舗目）



■ 高架下開発

- 曳舟駅・八広駅間における高架下開発の推進
 - －沿線地域の特性に合わせたゾーニングを実施し、各テナント誘致・賃貸施設の開発を推進
 - ・小型スーパーマーケット（2016年11月）
 - ・飲食店（2016年度中）

■ マンション分譲・賃貸住宅の拡充

- サングランデ ザ・レジデンス千葉の分譲
 - ウエストレジデンス 98戸
 - イーストレジデンス 90戸
- サングランデ松戸の分譲 (2016年8月完売)
- 松戸市紙敷賃貸住宅の取得
- 公津の杜賃貸住宅の開発



サングランデ ザ・レジデンス千葉

■ ショッピングセンターのリニューアル

- ユアエルム京成八千代台店のリニューアル
 - 新規出店店舗 (16店舗)
 - リニューアル店舗 (37店舗)



■ 観光商品の造成・旅客誘致キャンペーン展開

- 千葉県による観光事業への協力
 - 沿線観光スポットのサービスを組み合わせた鉄道旅行商品の販売
- 市川市コミュニティバス「1日乗車券」の発売
- 沿線アウトレットとの共同キャンペーン



■ オリンピックに向けたバリアフリー対応

- リフト付き高速バスの実証運行開始
 - 成田空港～海浜幕張駅・幕張メッセ間
 - 千葉県内初となるリフト付きバスの導入



■ ホーム上における安全対策

- ホームドアの導入
 - 日暮里駅3階ホーム（2017年度）

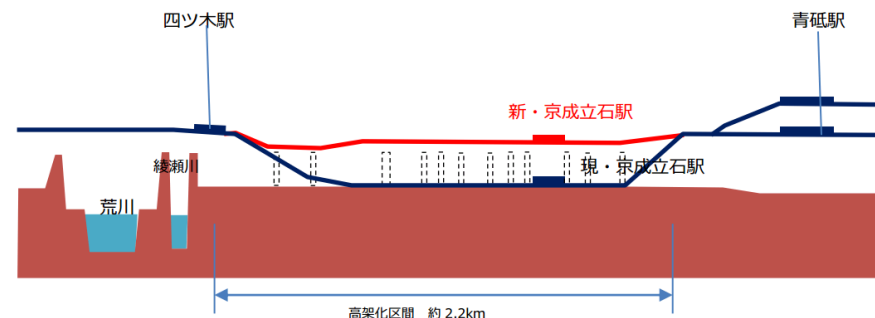


■ 連続立体交差事業の推進

- 墨田区内連続立体交差化
 - 高架化完了、区間内8箇所の踏切を除却
 - 事業完了（2017年3月予定）



- 葛飾区内連続立体交差化
 - 仮線工事及び用地買収の推進



■ 災害対策の強化

- 耐震補強工事の推進
- 法面補強工事の推進

1. 経営概況
2. E 3プラン進捗状況
- 3. 2017年3月期 第2四半期連結決算**
4. 2017年3月期 連結業績予想
5. 連結業績の推移
6. 参考資料

■ 第2四半期の業績(前年同期比較)

(単位：百万円、%)

	2016/9 実績	2015/9 実績	増減	増減率
営業収益	121,580	125,616	△ 4,035	△ 3.2
営業利益	17,253	16,596	657	4.0
(営業利益率)	14.2	13.2	1.0pt	—
経常利益	25,263	23,845	1,418	5.9
うち持分法投資利益	9,057	8,635	422	4.9
親会社株主に帰属する 四半期純利益	19,005	17,818	1,186	6.7

■ 営業収益(セグメント別)

(単位：百万円、%)

	2016/9 実績	2015/9 実績	増減	増減率	差異内訳
運輸業	71,755	70,405	1,350	1.9	鉄道事業の増
流通業	33,969	34,715	△ 746	△ 2.2	
不動産業	8,104	12,087	△ 3,982	△ 32.9	不動産販売業の減
レジャー・サービス業	4,793	4,889	△ 96	△ 2.0	
建設業	7,565	8,693	△ 1,128	△ 13.0	完成工事高の減
その他の事業	2,134	2,203	△ 69	△ 3.2	
計	128,321	132,994	△ 4,673	△ 3.5	
消去又は全社	△ 6,740	△ 7,378	637	—	
連結	121,580	125,616	△ 4,035	△ 3.2	

■ 営業収益(主なセグメントの内訳)

(単位：百万円、%)

	2016/9 実績	2015/9 実績	増減	増減率	差異内訳
鉄道事業	38,304	37,401	903	2.4	空港輸送の増
バス事業	22,171	21,997	174	0.8	
タクシー事業	11,278	11,006	271	2.5	
運輸業計	71,755	70,405	1,350	1.9	
ストア業	18,553	18,959	△ 406	△ 2.1	
百貨店業	12,456	12,629	△ 172	△ 1.4	
その他	2,959	3,126	△ 167	△ 5.4	
流通業計	33,969	34,715	△ 746	△ 2.2	
不動産販売業	1,051	5,795	△ 4,743	△ 81.9	販売戸数の減
不動産賃貸業	5,198	4,668	529	11.3	
不動産管理業	1,854	1,623	231	14.3	
不動産業計	8,104	12,087	△ 3,982	△ 32.9	

■ 営業利益(セグメント別)

(単位：百万円、%)

	2016/9 実績	2015/9 実績	増減	増減率	差異内訳
運輸業	13,609	12,100	1,509	12.5	鉄道事業の増
流通業	435	628	△ 193	△ 30.7	
不動産業	2,795	3,264	△ 469	△ 14.4	不動産販売業の減
レジャー・サービス業	62	70	△ 8	△ 11.9	
建設業	315	331	△ 16	△ 4.9	
その他の事業	△ 6	157	△ 163	—	
計	17,212	16,554	658	4.0	
消去又は全社	40	42	△ 1	△ 3.2	
連結	17,253	16,596	657	4.0	

■ 営業利益(主なセグメントの内訳)

(単位：百万円、%)

	2016/9 実績	2015/9 実績	増減	増減率	差異内訳
鉄道事業	9,887	8,349	1,538	18.4	増収の影響
バス事業	3,207	3,293	△ 86	△ 2.6	
タクシー事業	515	457	57	12.5	
運輸業計	13,609	12,100	1,509	12.5	
ストア業	329	430	△ 101	△ 23.5	
百貨店業	△ 9	26	△ 36	—	
その他	115	170	△ 55	△ 32.6	
流通業計	435	628	△ 193	△ 30.7	
不動産販売業	△ 43	779	△ 823	—	減収の影響
不動産賃貸業	2,723	2,369	353	14.9	
不動産管理業	115	115	0	0.4	
不動産業計	2,795	3,264	△ 469	△ 14.4	

■ 連結キャッシュ・フロー

(単位：百万円)

	2016/9 実績	2015/9 実績	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	18,338	18,769	△ 430
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 5,644	△ 2,577	△ 3,067
フリー キャッシュ・フロー	12,694	16,192	△ 3,497
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 18,337	△ 17,664	△ 672
当期キャッシュ・フロー	△ 5,642	△ 1,472	△ 4,170

■ 連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

		2016/9 実績	2016/3 実績	増減	増減率	差異内訳
	流動資産	95,794	98,839	△ 3,045	△ 3.1	
	固定資産	685,913	682,322	3,590	0.5	
	資産合計	781,867	781,280	586	0.1	
	流動負債	189,922	200,601	△ 10,679	△ 5.3	
	固定負債	277,526	284,303	△ 6,777	△ 2.4	
	負債合計	467,448	484,905	△ 17,457	△ 3.6	借入金等の減
	自己資本	305,038	287,843	17,195	6.0	
	純資産合計	314,419	296,374	18,044	6.1	利益剰余金の増
	負債純資産合計	781,867	781,280	586	0.1	
自己資本比率		39.0	36.8	2.2pt	—	

1. 経営概況
2. E 3プラン進捗状況
3. 2017年3月期 第2四半期連結決算
- 4. 2017年3月期 連結業績予想**
5. 連結業績の推移
6. 参考資料

■ 通期の業績予想

(単位：百万円、%)

	2017/3 今回予想	2016/3 実績	増減	2017/3 当初予想	増減
営業収益	246,400	251,204	△ 4,804	247,000	△ 600
営業利益	28,200	28,234	△ 34	27,000	1,200
(営業利益率)	11.4	11.2	0.2pt	10.9	0.5pt
経常利益	43,800	42,572	1,227	42,600	1,200
うち持分法投資利益	17,700	17,197	502	18,200	△ 500
親会社株主に帰属する 当期純利益	32,700	30,997	1,702	31,800	900
EBITDA倍率 ※	6.1倍	6.6倍	△ 0.5pt	6.4倍	△ 0.3pt

※ EBITDA倍率 = 有利子負債残高 ÷ (営業利益 + 減価償却費)

なお、有利子負債残高にはリース債務を含む

■ 営業収益(セグメント別)

(単位：百万円)

	2017/3 今回予想	2016/3 実績	増減	2017/3 当初予想	増減
運輸業	143,100	139,922	3,177	142,600	500
流通業	68,900	69,758	△ 858	69,900	△ 1,000
不動産業	17,500	22,092	△ 4,592	17,100	400
レジャー・サービス業	9,800	10,111	△ 311	9,900	△ 100
建設業	22,000	24,989	△ 2,989	21,900	100
その他の事業	4,900	4,990	△ 90	5,500	△ 600
計	266,200	271,864	△ 5,664	266,900	△ 700
消去又は全社	△ 19,800	△ 20,660	860	△ 19,900	100
連結	246,400	251,204	△ 4,804	247,000	△ 600

前期比

運輸業

不動産業

建設業

鉄道事業・タクシー事業の増

不動産販売業の減

完成工事高の減

当初予想比

流通業

ストア業・百貨店業の減

■ 営業収益(主なセグメントの内訳)

(単位：百万円)

	2017/3 今回予想	2016/3 実績	増減	2017/3 当初予想	増減
鉄道事業	76,400	74,658	1,741	75,800	600
バス事業	43,700	43,303	396	43,700	0
タクシー事業	23,000	21,960	1,039	23,100	△ 100
運輸業計	143,100	139,922	3,177	142,600	500
ストア業	36,800	37,607	△ 807	37,100	△ 300
百貨店業	25,800	25,889	△ 89	26,200	△ 400
その他	6,300	6,261	38	6,600	△ 300
流通業計	68,900	69,758	△ 858	69,900	△ 1,000
不動産販売業	3,600	9,172	△ 5,572	3,600	0
不動産賃貸業	10,400	9,667	732	10,400	0
不動産管理業	3,500	3,251	248	3,100	400
不動産業計	17,500	22,092	△ 4,592	17,100	400

前期比

鉄道事業

タクシー事業

不動産販売業

空港輸送の増

新設会社の営業開始

前期土地の一括分譲による減

当初予想比

鉄道事業

空港輸送の増

■ 営業利益(セグメント別)

(単位：百万円)

	2017/3 今回予想	2016/3 実績	増減	2017/3 当初予想	増減
運輸業	20,600	18,358	2,241	19,300	1,300
流通業	900	1,164	△ 264	1,100	△ 200
不動産業	5,400	6,715	△ 1,315	5,200	200
レジャー・サービス業	200	281	△ 81	200	0
建設業	800	1,237	△ 437	800	0
その他の事業	200	354	△ 154	300	△ 100
計	28,100	28,112	△ 12	26,900	1,200
消去又は全社	100	122	△ 22	100	0
連結	28,200	28,234	△ 34	27,000	1,200

前期比

運輸業

不動産業

鉄道事業の増

不動産販売業の減

当初予想比

運輸業

鉄道事業の増

■ 営業利益(主なセグメントの内訳)

(単位：百万円)

	2017/3 今回予想	2016/3 実績	増減	2017/3 当初予想	増減
鉄道事業	15,600	12,990	2,609	14,500	1,100
バス事業	4,200	4,452	△ 252	4,000	200
タクシー事業	800	915	△ 115	800	0
運輸業計	20,600	18,358	2,241	19,300	1,300
ストア業	500	760	△ 260	700	△ 200
百貨店業	100	78	21	100	0
その他	300	326	△ 26	300	0
流通業計	900	1,164	△ 264	1,100	△ 200
不動産販売業	100	1,892	△ 1,792	100	0
不動産賃貸業	5,100	4,622	477	5,000	100
不動産管理業	200	200	0	100	100
不動産業計	5,400	6,715	△ 1,315	5,200	200

前期比

鉄道事業

不動産販売業

増収の影響

減収の影響

当初予想比

鉄道事業

増収の影響

1. 経営概況
2. E 3プラン進捗状況
3. 2017年3月期 第2四半期連結決算
4. 2017年3月期 連結業績予想
- 5. 連結業績の推移**
6. 参考資料

■ 業績の推移

(単位：百万円)

	2013/3 実績	2014/3 実績	2015/3 実績	2016/3 実績	2017/3 予想
営業収益	244,059	244,995	249,016	251,204	246,400
運輸業	131,886	135,062	135,319	139,922	143,100
営業利益	22,984	24,244	24,313	28,234	28,200
運輸業	16,780	17,308	15,917	18,358	20,600
営業外収益	13,935	18,439	18,418	19,115	19,700
持分法投資利益	11,564	16,051	16,197	17,197	17,700
営業外費用	6,317	5,704	5,562	4,777	4,100
支払利息	5,806	5,151	4,370	4,013	3,500
経常利益	30,602	36,980	37,169	42,572	43,800
親会社株主に帰属する 当期純利益 ※	21,973	27,048	25,683	30,997	32,700

※2015/3実績以前については「当期純利益」を表している

■ 有利子負債残高等の推移

(単位：百万円)

	2013/3 実績	2014/3 実績	2015/3 実績	2016/3 実績	2017/3 予想
借入金・社債等	369,342	345,688	329,342	315,525	293,500
リース債務	24,180	23,545	24,158	23,364	24,300
合計（有利子負債残高）	393,522	369,234	353,501	338,889	317,800
EBITDA倍率	8.8倍	8.0倍	7.6倍	6.6倍	6.1倍

1. 経営概況
2. E 3プラン進捗状況
3. 2017年3月期 第2四半期連結決算
4. 2017年3月期 連結業績予想
5. 連結業績の推移
6. **参考資料**

グループ経営理念

- 京成グループは、お客様に喜ばれる良質な商品・サービスを、安全・快適に提供し、健全な事業成長のもと、社会の発展に貢献します。

経営理念

長期経営計画
「EVOLUTION PLAN」

中期経営計画
(3カ年計画)

長期経営計画「EVOLUTION PLAN」 (= Eプラン) 〔2010年度～2021年度 12ヶ年〕

E1プラン
(2010～2012年度)

E2プラン
(2013～2015年度)

E3プラン
(2016～2018年度)

E4プラン
(2019～2021年度)

グループ事業の中核である交通運輸事業の競争力・収益力を更に強化すると共に、千葉県北西部（特に京成線・新京成線・北総線沿線）並びに東京都東部を地盤として地域に密着した堅実な総合生活産業を展開し、地域経済を代表する企業グループの地位を拡充する。

■最終年度（2021年度）数値目標

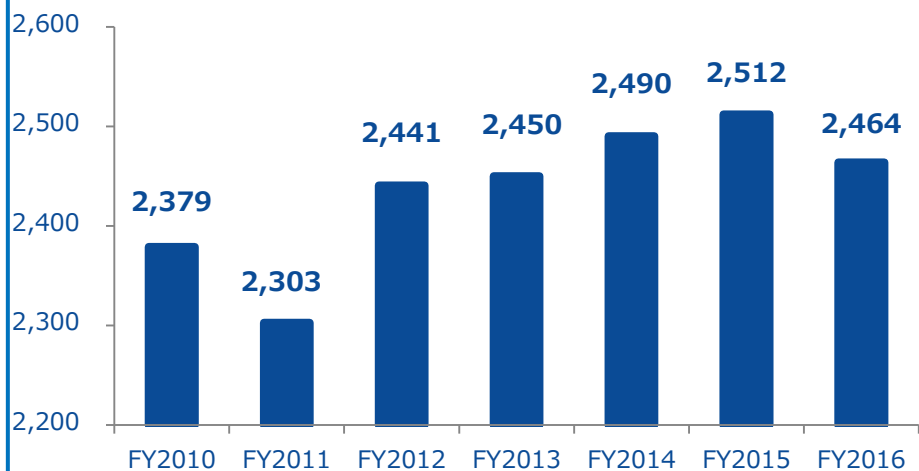
営業収益
2,800億円以上

営業利益率
10%以上

有利子負債残高
3,500億円以下
(EBITDA倍率 7倍以下)

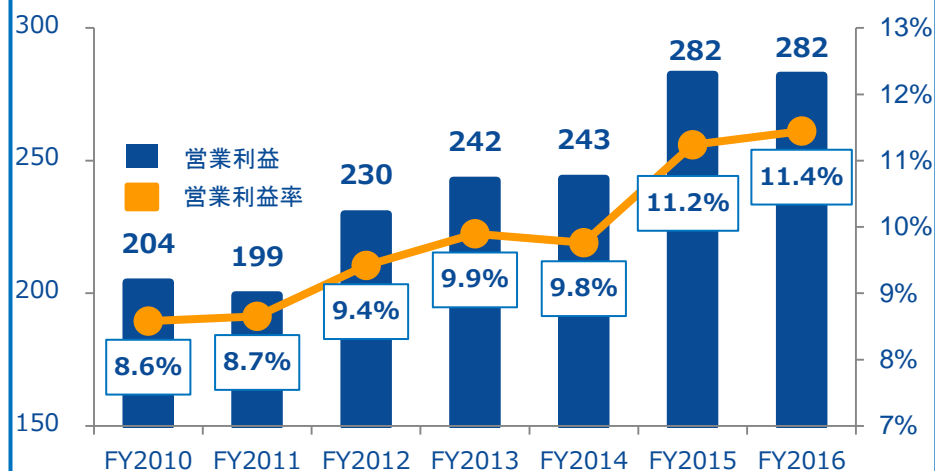
■ 営業収益

(単位：億円)



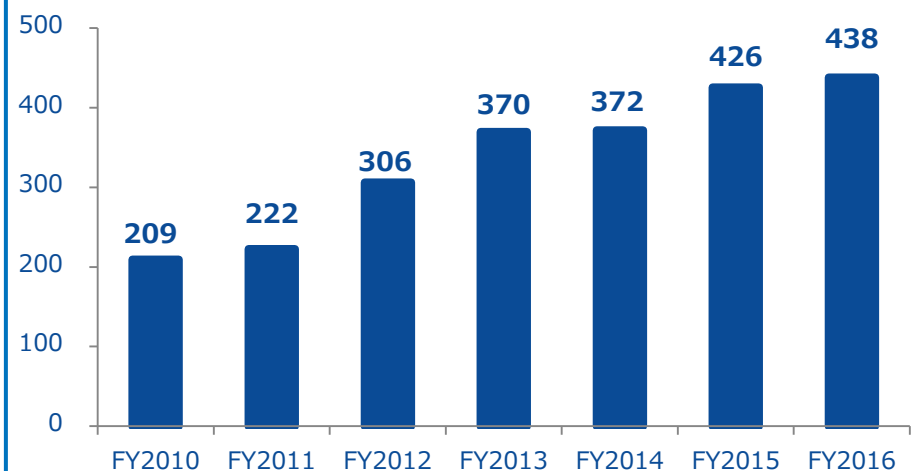
■ 営業利益・営業利益率

(単位：億円、%)



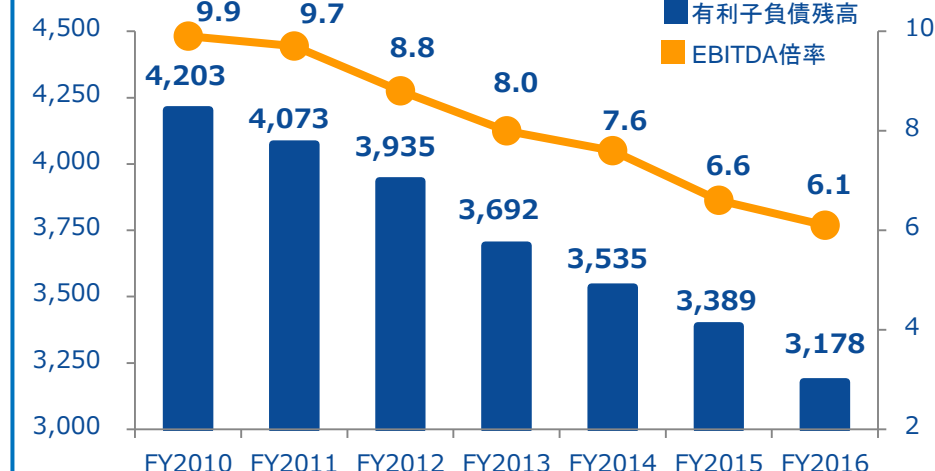
■ 経常利益

(単位：億円)



■ 有利子負債・EBITDA倍率

(単位：億円、倍)



「E3プラン」数値目標

	2018年度 (目標)	2016年度 (予想)
営業利益	280億円以上	282億円
営業利益率	11%以上	11.4%
経常利益	440億円以上	438億円
有利子負債残高	上限3,250億円	3,178億円
(EBITDA倍率)	上限6.1倍	6.1倍

戦略投資枠

中長期的な収益拡大、及びサービス・安全性の向上に資する投資を対象に、
「E3プラン」期間で最大400億円を設定

「E3プラン」 損益計画①

		2018年度 (E3プラン)	2016年度 (予想)
運 輸 業	営 業 収 益	1,450億円	1,431億円
	営 業 利 益	194億円	206億円
流 通 業	営 業 収 益	719億円	689億円
	営 業 利 益	11億円	10億円
不 動 産 業	営 業 収 益	198億円	175億円
	営 業 利 益	59億円	54億円
レシ「ャー・サービ「ス業	営 業 収 益	93億円	98億円
	営 業 利 益	2億円	2億円
建 設 業	営 業 収 益	241億円	220億円
	営 業 利 益	9億円	7億円
そ の 他 の 事 業	営 業 収 益	63億円	49億円
	営 業 利 益	4億円	2億円
合 計 (連 結 修 正 後)	営 業 収 益	2,537億円	2,464億円
	営 業 利 益	280億円	282億円

「E3プラン」損益計画②（運輸セグメントの内訳）

		2018年度 (E3プラン)	2016年度 (予想)
鉄 道 事 業	営 業 収 益	762億円	764億円
	営 業 利 益	147億円	156億円
バ ス 事 業	営 業 収 益	443億円	437億円
	営 業 利 益	36億円	42億円
タ ク シ ー 事 業	営 業 収 益	245億円	230億円
	営 業 利 益	11億円	8億円
運 輸 業 計	営 業 収 益	1,450億円	1,431億円
	営 業 利 益	194億円	206億円

沿線人口の推移

2016年9月、2013年4月（前中期経営計画「E2プラン」初年度）比

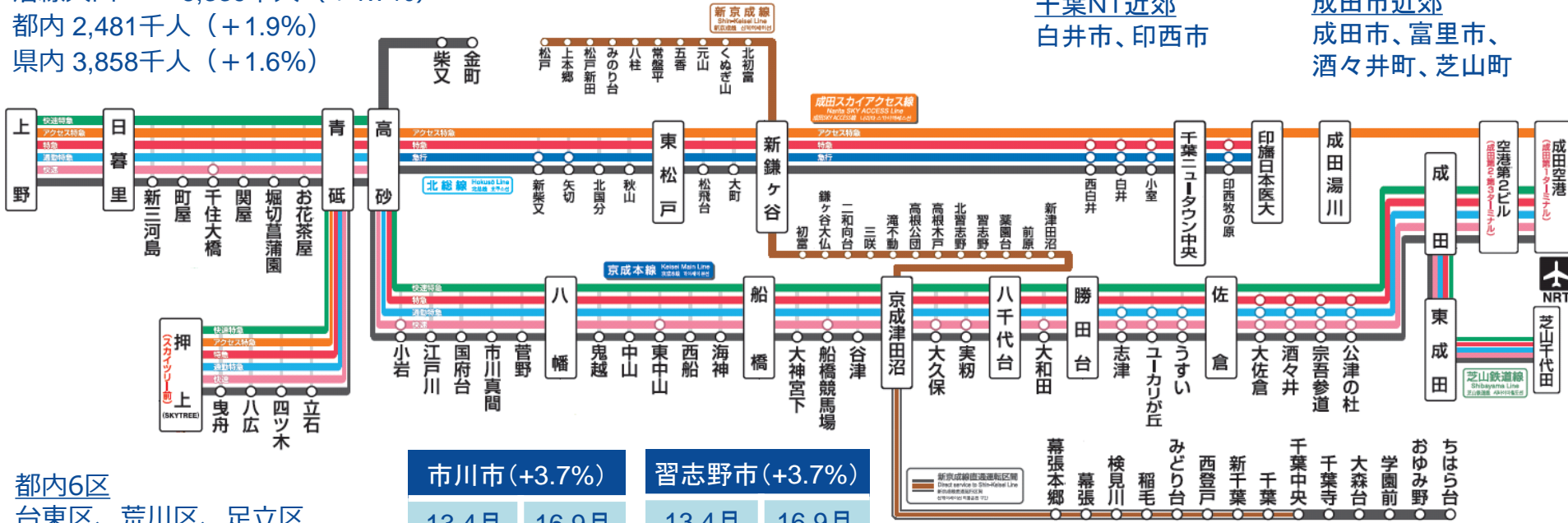
単位：千人

京成エリア 東京都東部・千葉県
 営業距離 178.8km（当社、北総、新京成）
 駅数 102駅
 自治体数 都内6区、県内13市 2町
 沿線人口 6,339千人（+1.7%）
 都内 2,481千人（+1.9%）
 県内 3,858千人（+1.6%）

戸田市(+1.1%)		鎌ヶ谷市(+0.3%)		千葉NT近郊(+3.0%)		成田市近郊(+0.4%)	
13.4月	16.9月	13.4月	16.9月	13.4月	16.9月	13.4月	16.9月
480	486	109	109	152	156	209	209

千葉NT近郊
白井市、印西市

成田市近郊
成田市、富里市、
酒々井町、芝山町



都内6区
台東区、荒川区、足立区
葛飾区、江戸川区、墨田区

市川市(+3.7%)		習志野市(+3.7%)		佐倉市(+0.3%)		千葉市(+1.1%)		市原市(△1.5%)	
13.4月	16.9月	13.4月	16.9月	13.4月	16.9月	13.4月	16.9月	13.4月	16.9月
468	486	165	171	172	173	964	974	278	274
都内6区(+1.9%)		船橋市(+2.3%)		八千代市(+2.3%)					
13.4月	16.9月	13.4月	16.9月	13.4月	16.9月				
2,435	2,481	613	627	190	194				

数値は自治体公表値による

本資料の情報のうち、過去の事実以外のものは将来の見通しであり、リスクや不確実性を含んだものです。実際には様々な要因により異なる結果となる場合があることをご承知おきください。

本資料は、弊社ホームページでご覧いただけます。
<http://www.keisei.co.jp/keisei/ir/index.html>